

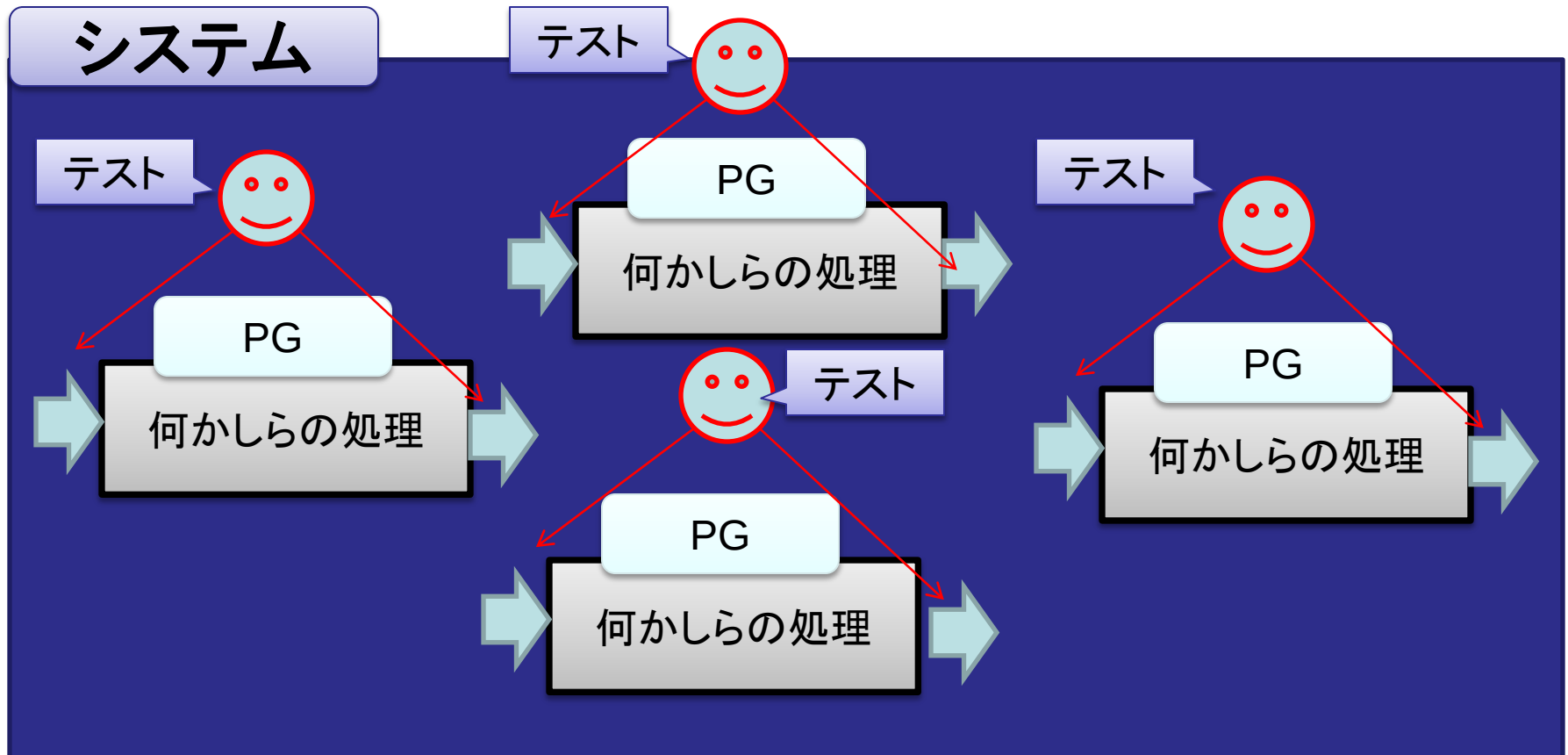
はじめてのシナリオテスト

《 T社 保険料計算システムの場合 》

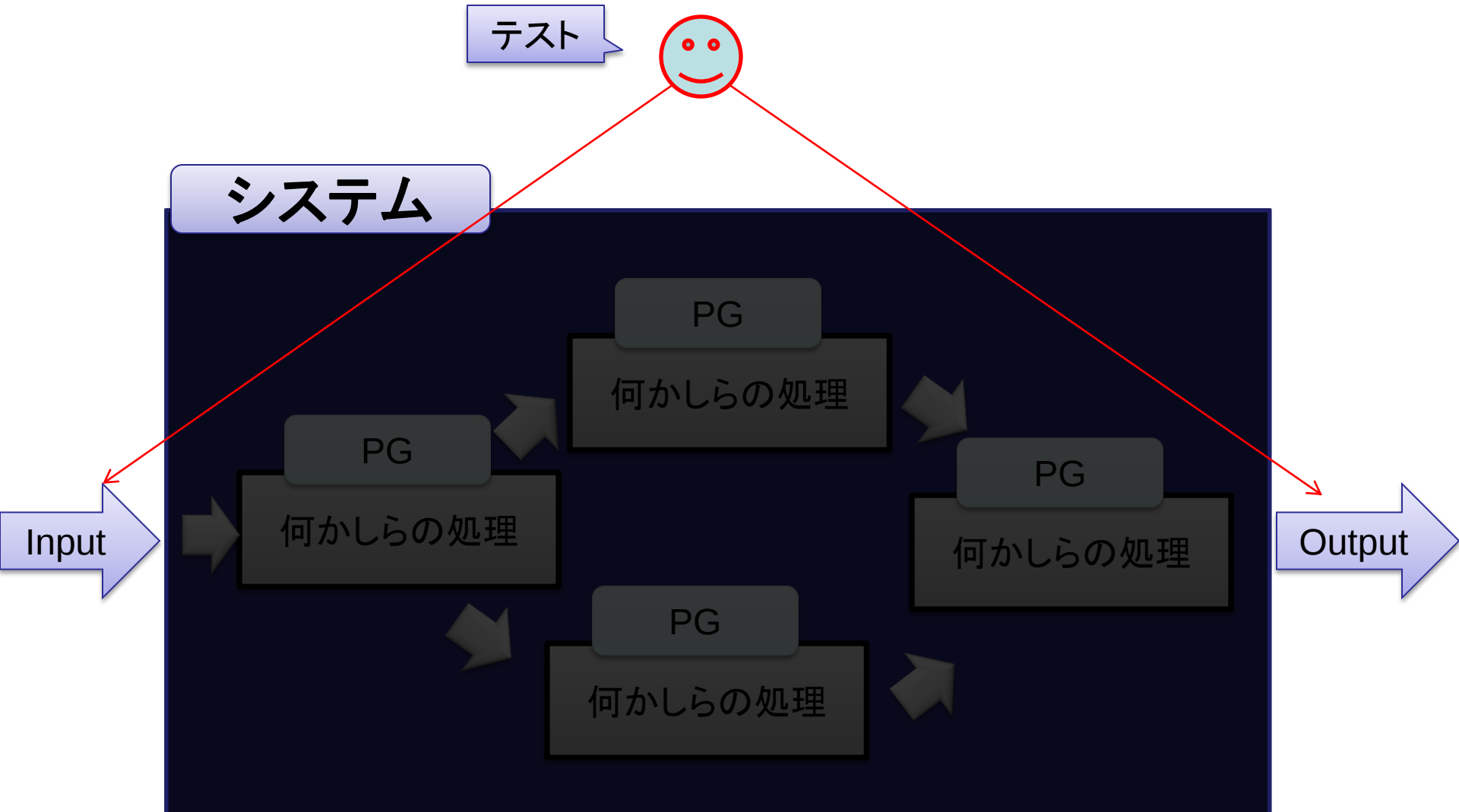
シナリオテストとは？

- システムテストの一種だと思われる
- システム全体を「1つの巨大なブラックボックス」と考えてテストを行うのがポイント
- ユーザーが行う業務を想定してシナリオを作成して、確認するテスト
- インプット(参照)情報は「要求」または「要件定義」
- 最終的には、ユーザーの「満足度」を満たすのがゴール

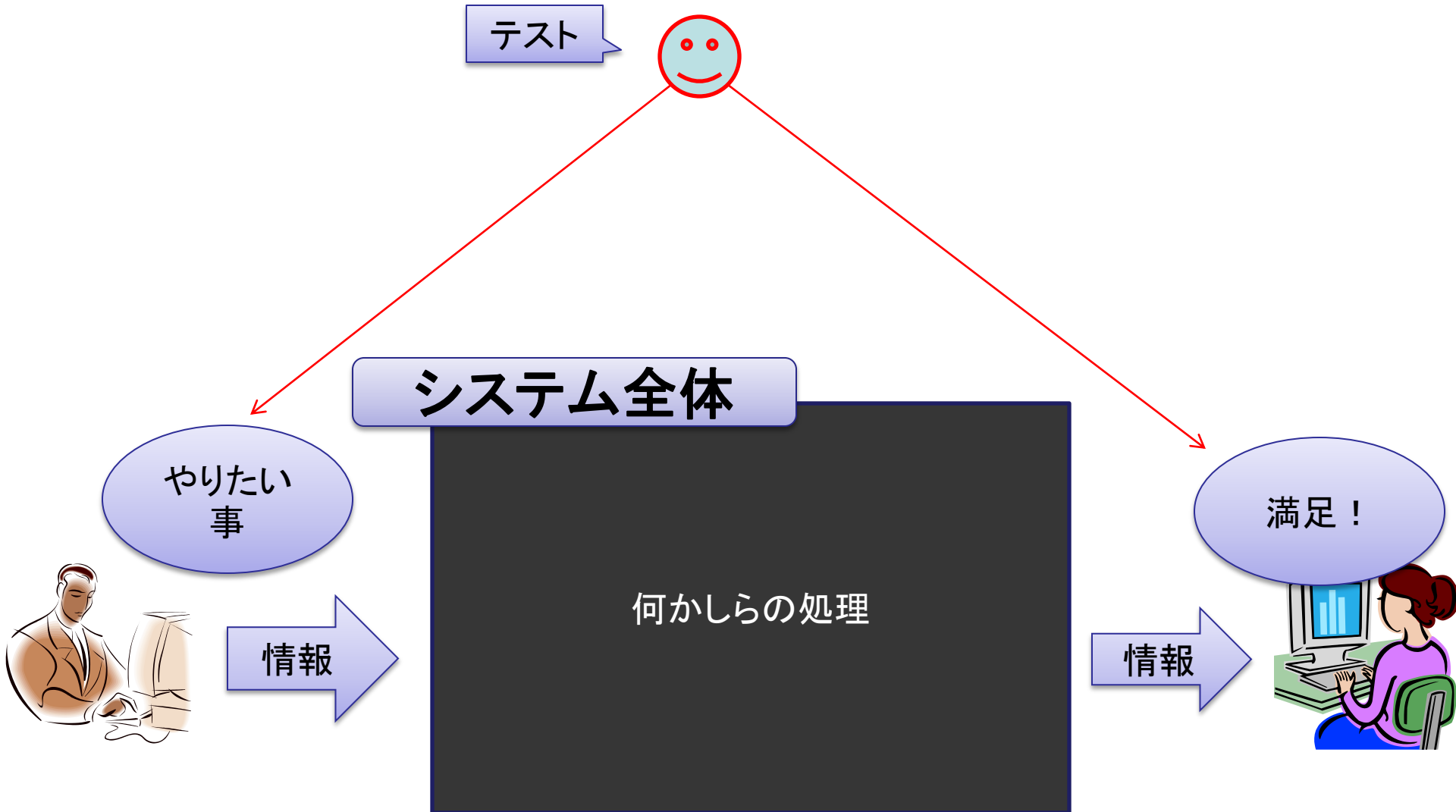
単体機能テスト



システムテスト

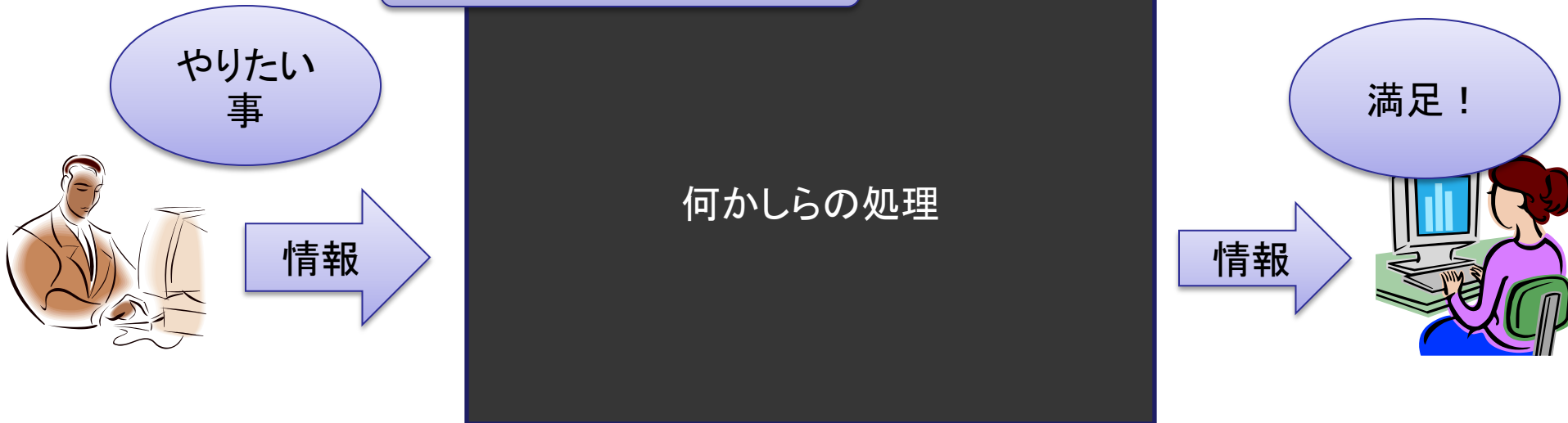


システムテストの観点



今回の場合は？

システム全体



□保険料計算システム

- ・データの変更に応じて
マスタをメンテナンスしたい
- ・ユーザが指定する条件に合った
データを検索したい
- ・各種帳票を正しく出力したい

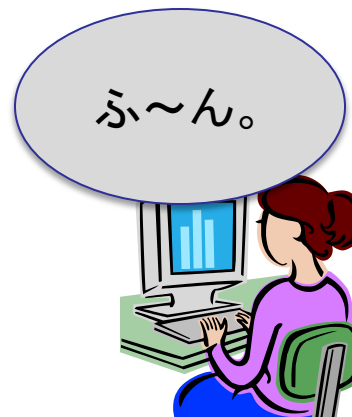
□保険料計算システム

- ・それぞれのマスタへの
登録/修正/削除が**スムーズ**にできる
- ・データが**素早く**検索でき、
結果が**見やすく**表示される
- ・データが**自動**で集計され、
各種帳票が**簡単**に出力できる

システムテストの期待値

《期待値》

- ・それぞれのマスタへの登録/修正/削除ができる
- ・事務所の検索内容が表示される
- ・データが集計され、各種帳票が出力される



仕様通りではあるけれど、何もうれしくない



単体機能テストの期待値

《システムテストの期待値》

- ・それぞれのマスタへの登録/修正/削除が**スムーズ**にできる
- ・データが**素早く**検索でき、結果が**見やすく**表示される
- ・データが**自動**で集計され、各種帳票が**簡単**に出力できる



仕様通りであり、顧客の希望を叶えている



システムテストの期待値

シナリオテスト (for T社)

- 「ユーザーが行う業務を想定してシナリオを作成して、確認する」



【シナリオテストで確認できること】

- ・業務フローに基づいたPG間でのデータの受渡し結果
ex.) 事業所マスタ・組合員一覧 ⇒ 組合員マスタ・家族一覧 etc.
- ・ユーザー運用の時系列に沿ったステータス変更に応じた集計結果
ex.) 未加入 ⇒ 加入中 ⇒ 喪失済、介護対象年齢:未満 ⇒ 対象 ⇒ 超過 etc.
- ・業務フローに即したデータの組合せによる集計結果
ex.) 事業主(都内)・家族2名(保険料対象/対象外)の介護保険対象者 etc.
- ・業務フローを想定した操作に関する**ユーザビリティ**
ex.) 複数のウィンドウが開かれた状態の動作 etc.

シナリオテスト (for T社)

今回想定したシナリオは2本

【時系列シナリオ】

- ・通常業務で想定される処理の流れを意識したシナリオ
《Point》 時間経過によるステータス変更に合わせて、
システム日付の変更とともに集計内容は変更されるか

【組合せ & 設定変更シナリオ】

- ・様々な組合せを網羅することを意識したシナリオ
《Ponit.1》 各区分・条件を組み合わせたデータを作成した際、
集計内容に不具合はないか
《Ponit.2》 各区分・条件を組み合わせたデータを変更した際、
集計内容に不具合はないか

シナリオテスト(for T社)

【時系列シナリオ】

■手順.0 意識したこと

- ・実際に起こりうる流れであること
- ・境界値の前後を確認できるようにすること

■手順.1 イベントの列挙

- ・洗い出した状態遷移をカバーできるイベントを想定し、列挙する
ex.) 加齢による介護保険加入、喪失日に合わせた国保喪失 など

■手順.2 作成データの特定

- ・上記イベントを実行できる最低限のデータを設計する

■手順.3 時系列の作成

- ・境界値の前後の集計内容を確認できるよう、イベントを整列させる

■手順.4 期待値の作成

- ・時系列に沿って、イベントごとに期待値を設定する

- 《Point》
- ①時間経過によるステータス変更が集計結果に反映されているか
 - ②検索結果、各帳票をクロスチェックし、集計結果に相違点はないか
 - ③一連の操作に使いにくい点、わかりにくい点はないか。動作に違和感はないか

シナリオテスト(for T社)

【組合せ & 設定変更シナリオ】

■手順.0 意識したこと

- ・極力無駄な要素を排除すること

ex.)All-Pair法の利用、確認事項・確認方法の統一 など

■手順.1 組合せの特定

- ・区分、条件を網羅できるよう、All-Pair法で組み合わせる

■手順.2 設定変更の特定

- ・通常業務で想定される設定変更やデータ修正を想定し、
手順.1で作成した組み合わせと照らし合わせて、変更内容を特定する

■手順.3 期待値の作成

- ・組合せ、修正内容に応じた期待値を設定する

- 《Point》
- ①それぞれの組合せで区分・条件に応じた集計が行われているか
 - ②修正内容が区分・条件などに反映され、正しく集計されているか
 - ③検索結果、各帳票をクロスチェックし、集計結果に相違点はないか
 - ④一連の操作に使いにくい点、わかりにくい点はないか。動作に違和感はないか

シナリオテスト (for T社)

◇結果。1◇

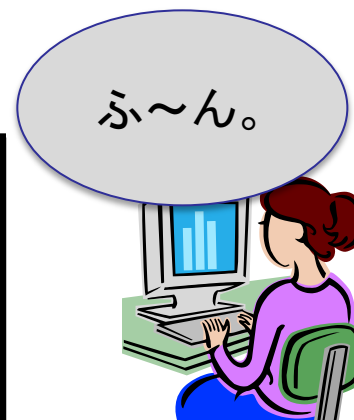
新たな不具合を発見することはできなかった。

《要因》

- ・正常系のイベントのみを想定してシナリオを作成したため
- ・機能から逆算してシナリオを作成したため
⇒ 機能テストの組み合わせ？

改善案

ユーザの業務フローをより具体的に聞き取り、より実務に近いシナリオを作成し、実行する



◇結果。2◇

ユーザビリティの観点からの問題点に気づくこともなかった。

《要因》

- ・ユーザになりきることができなかったため
- ・想定ユーザの作り込みが甘かったため

改善案

『ペルソナ法』の利用

ありがとうございました。